

蒲生干潟の地形調査③⑤



Fig.1 ドローンによる潟湖全体のようす（南西側より撮影）



Fig.2 北側潟湖分断部分（西側より撮影）



Fig.3 導流堤付近の様子（西側より撮影）



Fig.4 通水部分（北側より撮影）

調査日 2018年8月3日（金）13：30～15：30 ※干潮時刻12：41（潮位50cm）

今回の調査はドローンによる干潟周辺の空撮およびGPS簡易測量装置による簡易測量を行ったが装置の不調により測量調査の結果は報告できない。Fig.1は潟湖の南西側から潟湖全体を空撮したものである。6月の調査では4つに分断していた北側潟湖も一つにつながっていた。□で囲まれた部分では潟湖は大きく2つに分断しているが、周辺の土が湿っていることを確認した(Fig.2)。このことから全体的に潟湖の水位が上がっていたことがわかる。

導流堤付近の工事も進んでおり(Fig.3)導流堤が南北2箇所に分けて建設されていた。潟湖と川の通水は東側に掘られた通水部分(Fig.4)で行われており、調査時間帯は川から潟湖への流入していた。

河口付近はFig.3からもわかるようにうっすらと砂州が出来ており、多くの鳥たちが砂州にいた。また、右岸側は河口付近で大きく堆積をし砂州を形成しており、河口が狭くなっていた。